

VIII 連結財務書類

連結財務4表の範囲は、一般会計等、公営事業会計、一部事務組合（宮古地区広域行政組合、岩手県市町村総合事務組合、岩手県後期高齢者医療広域連合）及び第三セクター（㈱宮古地区産業振興公社、㈱新里産業開発公社、㈱川井産業振興公社、㈱グリーンピア三陸みやこ、(有)川井交通）となっています。

なお、対象となる会計間で取引があった場合、その収入及び支出をそれぞれの会計及び団体から相殺消去しています。

また、会計・団体間に出資などの関係がある場合、貸借対照表上でもそれぞれ相殺消去しています。

1 連結貸借対照表

令和6年度末現在の連結貸借対照表の状況は、下記のとおりです。

| | |
|-------|----------------|
| 【資産】 | 276,829,221 千円 |
| 【負債】 | 79,597,465 千円 |
| 【純資産】 | 197,231,756 千円 |

資産の内訳は、下記のとおりです。

| | |
|--------|----------------|
| 【固定資産】 | 261,050,745 千円 |
| 【流動資産】 | 15,778,476 千円 |

負債の内訳は、下記のとおりです。

| | |
|--------|---------------|
| 【固定負債】 | 73,009,218 千円 |
| 【流動負債】 | 6,588,247 千円 |

これらを市民一人当たりに換算すると、下記のとおりとなります。

| | |
|------|--------------------------|
| 【資産】 | 6,132 千円 |
| 【負債】 | 1,763 千円 (参考) 670 千円 (※) |

(※) 地方債残高から地方交付税算入見込額を控除した実質的な負債額

| | |
|-------|----------|
| 【純資産】 | 4,369 千円 |
|-------|----------|

(※令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口・・・ 45,148 人)

貸借対照表の分析

(1) 住民一人当たり資産額

$$\begin{aligned} \text{住民一人当たり資産額} &= \frac{\text{資産 (276,829,221 千円)}}{\text{人口 (45,148 人)}} \\ &= 6,132 \text{ 千円} \end{aligned}$$

(2) 有形固定資産の行政目的別割合

| | | | |
|-------------|-------|------|-------|
| 生活インフラ・国土保全 | 39.1% | 教育 | 12.2% |
| 福祉 | 1.1% | 環境衛生 | 9.0% |
| 産業振興 | 26.3% | 消防 | 1.3% |
| 総務 | 11.0% | | |

(3) 歳入対資産比率

$$\text{歳入対資産比率} = \frac{\text{資産 (276,829,221 千円)}}{\text{歳入合計 (63,075,319 千円)}}$$

= 4.4 年

(4) 資産老朽化比率

$$\begin{aligned} \text{資産老朽化比率} &= \frac{\text{償却資産減価償却累計額} \quad (\quad 297,742,708 \text{ 千円})}{\text{償却資産取得価格等} \quad (\quad 487,835,425 \text{ 千円})} \\ &= 61.0 \% \end{aligned}$$

(5) 純資産比率

$$\begin{aligned} \text{純資産比率} &= \frac{\text{純資産} \quad (\quad 197,231,756 \text{ 千円})}{\text{資産} \quad (\quad 276,829,221 \text{ 千円})} \\ &= 71.2 \% \end{aligned}$$

(6) 社会資本等形成の世代間負担比率 (将来世代負担比率)

$$\begin{aligned} \text{将来世代の負担割合} &= \frac{\text{地方債} \quad (\quad 45,856,332 \text{ 千円})}{\text{有形・無形固定資産} \quad (\quad 254,835,182 \text{ 千円})} \\ &= 18.0 \% \end{aligned}$$

(7) 住民一人当たり負債額

$$\begin{aligned} \text{住民一人当たり負債額} &= \frac{\text{負債} \quad (\quad 79,597,465 \text{ 千円})}{\text{人口} \quad (\quad 45,148 \text{ 人})} \\ &= 1,763 \text{ 千円} \\ &\quad (\text{参考}) \quad 670 \text{ 千円} (\text{※}) \end{aligned}$$

(※) 地方債残高から地方交付税算入見込額を控除した実質的な負債額

2 連結行政コスト計算書

令和6年度の連結行政コスト計算書の状況は、下記のとおりです。

| | |
|----------|---------------|
| 【経常費用】 | 57,472,941 千円 |
| 【経常収益】 | 3,856,640 千円 |
| 【臨時損失】 | 236,914 千円 |
| 【臨時利益】 | 6,900 千円 |
| 【純行政コスト】 | 53,846,315 千円 |

(※純行政コスト＝経常費用－経常収益＋臨時損失－臨時利益)

経常費用の内訳は、下記のとおりです。(※括弧内は経常費用に占める割合)

| | | |
|------------|---------------|-----------|
| 【人件費】 | 7,940,594 千円 | (13.8 %) |
| 【物件費等】 | 21,036,083 千円 | (36.6 %) |
| 【その他の業務費用】 | 1,218,742 千円 | (2.1 %) |
| 【移転費用】 | 27,277,522 千円 | (47.5 %) |

純行政コストを市民一人当たりへに換算すると、下記のとおりとなります。

| | |
|-----------------|----------|
| 【住民一人当たり純行政コスト】 | 1,193 千円 |
|-----------------|----------|

(※令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口・・・ 45,148 人)

行政コスト計算書の分析

(1) 住民一人当たり行政コスト

$$\begin{aligned} \text{住民一人当たり行政コスト} &= \frac{\text{純行政コスト} \quad (\quad 53,846,315 \text{ 千円})}{\text{人口} \quad (\quad 45,148 \text{ 人})} \\ &= 1,193 \text{ 千円} \end{aligned}$$

(2) 行政コスト対税収等比率

$$\begin{aligned} \text{行政コスト対税収等比率} &= \frac{\text{純行政コスト} \quad (\quad 53,846,315 \text{ 千円})}{\text{財源} \quad (\quad 47,703,637 \text{ 千円})} \\ &= 112.9 \% \end{aligned}$$

(3) 受益者負担の割合

$$\begin{aligned} \text{受益者負担の負担割合} &= \frac{\text{経常収益} \quad (\quad 3,856,640 \text{ 千円})}{\text{経常費用} \quad (\quad 57,472,941 \text{ 千円})} \\ &= 6.7 \% \end{aligned}$$

3 連結純資産変動計算書

令和6年度の連結純資産変動計算書の状況は、下記のとおりです。

| | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 【期首純資産残高】 | ・ ・ ・ ・ | 204,220,359 千円 |
| 【当期増減額】 | ・ ・ ・ ・ ・ | △ 6,988,603 千円 |
| 【期末純資産残高】 | ・ ・ ・ ・ | 197,231,756 千円 |

純資産が減少したのは、有形固定資産等の減少や、基金等の減少が主な要因です。

資産変動額を市民一人当たり換算すると、下記のとおりとなります。

| | | |
|------------------------|-----------|-------------------|
| 【住民一人当たり純資産変動額】 | ・ ・ ・ ・ ・ | △ 155 千円 |
| (※令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 | | ・ ・ ・ ・ 45,148 人) |

4 連結資金収支計算書

令和6年度の全体資金収支計算書の状況は、下記のとおりです。

| | | |
|------------|-----------|--------------|
| 【期首現金預金残高】 | ・ ・ ・ | 4,798,231 千円 |
| 【当期増減額】 | ・ ・ ・ ・ ・ | △ 947,784 千円 |
| 【期末現金預金残高】 | ・ ・ ・ | 3,850,448 千円 |

期末資金残高を市民一人当たり換算すると、下記のとおりとなります。

| | | |
|------------------------|-----------|-------------------|
| 【住民一人当たり期末資金残額】 | ・ ・ ・ ・ ・ | 85 千円 |
| (※令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口 | | ・ ・ ・ ・ 45,148 人) |